



2001.5.1  
平成13年

# まぐら 市議会だより

発行 佐倉市議会 編集 議会報編集委員会

〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地 ☎484-6177

## 平成13年度予算の概要と議決結果

は全員賛成、 は賛成多数

市長提出議案	丸数字は議案番号	本会議の議決結果
一般会計予算 予算総額は、399億1000万円で前年度に比べ1.4%の増。歳入の64%を占める市税には約255億円を見込んでいる。各事業に伴う特定財源として、国庫支出金約20億円、県支出金約11億円を計上。主な事業は、市民音楽ホールの大規模改修、臼井小改築、京成佐倉駅障害者対応エレベーター・トイレの設置、介護施設への建設補助など。		原案可決
国民健康保険特別会計予算 保険給付などに、89億4716万3000円。		原案可決
国民宿舎事業特別会計予算 テニスコート、オートキャンプ場の管理運営などに、1094万3000円。		原案可決
交通災害共済事業特別会計予算 共済見舞金などに、1363万2000円。		原案可決
公共用地取得事業特別会計予算 (仮)市営大蛇住宅建設用地等の公債費などに、2億7100万8000円。		原案可決
国鉄佐倉駅前土地区画整理事業特別会計予算 審議会の経費などに、349万5000円。		原案可決
下水道事業特別会計予算 下水道の維持管理・整備費、公債費などに、29億6271万円。		原案可決
老人保健特別会計予算 医療給付などに、92億1732万2000円。		原案可決
農業集落排水事業特別会計予算 処理場の維持管理、公債費などに、2047万7000円。		原案可決
介護保険特別会計予算 介護・支援サービスの給付などに、44億2061万9000円。		原案可決
水道事業会計予算 収益的支出36億円、収益的収入34億9433万1000円。資本的支出13億8700万円、資本的収入1億914万5000円。		原案可決

## 3月定例会

# 一般会計新年度予算は 399億1000万円は

### 助役に鎌田富雄氏を選任 水道料金を10月から値上げなど 議案・諮問56件を可決・同意

3月定例会は、3月1日から23日までの23日にわたり開かれました。今定例会では、「平成13年度佐倉市一般会計予算」など議案53件、諮問3件が提出され、すべて原案のとおり可決・同意しました。請願・陳情については、「印旛沼環境保全・治水対策早期実施意見書提出に関する陳情」1件、議員発議については、「財政運営を適切に行うことを求める決議」など6件を提出し審議しました。一般質問には、各会派の代表質問に6人、個人質問に6人が登壇し、市政について広範囲の質問を行いました。

## 予算審査特別委員会を設置

た委員は次のとおりです。  
榎沢四郎 秋葉 詳

神田徳光 櫻井昌弘 伊藤英雄 中原三男 栗生喜三郎 富塚忠雄  
森野正彦 檀谷正子 中村春子 西田三十五 倉田彰夫



予算審査特別委員会の審査風景

## 北海道

### 議会運営委員会で 網走市議会 釧路市議会を視察

議会運営委員会では、2月14日から16日にかけて、北海道網走市議会と釧路市議会を視察しました。

網走市議会では、「議会運営と議会改革」について視察。議会活動に対する市民の理解を得るための方策や議員研修の在り方など、議会改革特別委員会の話を聞きました。

釧路市議会では、「インターネットによる情報発信」について説明をうけました。

### 西志津用地購入 市民負担が最小と なるよう改善を

予算審査特別委員会は、3月12日から14日までの3日間、わたり開催され、担当部長の説明を受け、慎重に審査を行いました。

そして、議会最終日の委員報告の中で、西志津地先のスポーツ等多目的施設用地などの購入費の支払いに当たっては、市民負担が最小となるようその支払方法について改善すること、水道事業の整備が給水区域となるよう努めることの二点が要望されました。



釧路市議会でも、ホームページを利用した議会情報の公開などの話を聞く。



# 市政に関する一般質問

一般質問とは、議員が議案に関係なく、市政全般にわたり質問することをいいます。3月定例会では、7日、8日、9日の3日間にわたり、一般質問が行われ、市政に対し活発な議論が展開されましたので、その一部を掲載します。詳細については、市役所内市政資料室・市内各図書館で会議録(6月上旬発行予定)をご覧ください。

## 一般質問《代表質問》質問事項

議員名	質問事項	印本文掲載以外の質問項目
(さくら会) 望月清義	本昌寺に関する調停の経過と今後の見通し 介護保険問題 生涯スポーツの振興	
(公明クラブ) 神田徳光	IT講習の早期実施の取り組みについて 介護保険問題について 手話通訳の設置	
(市民ネットワーク) 中村春子	行財政改革と補助金見直しについて 井野東土地区画整理事業地内の道路、公園のあり方について 銃猟禁止区域の拡大について	
(新社会党) 冨塚忠雄	葬祭施設整備について 水道料金について 志津霊園問題について	
(市議会) 臼井尚夫	地価下落に伴う諸問題について 街灯の補助制度と地域自治会について バランスシート報告書と会計制度について	
(創生) 中原英雄	監査請求を自らの会社の営業に悪用する業者の是非 市長の財政運営 21世紀の佐倉市の在り方を考える	

## 公明クラブ

神田徳光議員

**問** 公明党はIT社会発展の中で、すべての国民が等しくその恩恵を受けられるようにと訴えている。国の補正予算にもIT講習が盛り込まれ、早急な実施が望まれているが、佐倉市の取り組みは、また障害者に対するIT講習についてはどうか。

**答** CATV幹線網の普及、市民カレッジの情報コーナー設置など既に情報化への対応の施策を進めているが、市では、今年度4960人を対象として、IT講習会を230講座計画している。聴覚障害のある方には、受講者1人に対し講師1人が配置できる講座を予定。車いす利用者対象の講習も予定している。視覚障害を持つ方に対しては、特殊な機器等が必要なことから、県が福祉団体に委託して実施する。

## 井戸水の窒素含有量について

**問** 公明党の調査によると、市内でも国の環境基準を超える窒素含有量を検出したところがあった。佐倉市としても市内の井戸水の水質調査等必要ではないか。また家畜のふん尿対策や畑への過剰な肥料の使用に対する考えは。

**答** 調査については、県と連携を図りながら実態を把握していく。ふん尿対策は、低コストで効果的に堆肥化できる施設等の整備を行い、適正な処理を推進する。また堆肥等の活用による土づくりなど様々な技術を取り入れ、化学肥料・農薬の使用の低減を推進していく。



公明党による市内井戸水水質調査

## 市民ネットワーク

中村春子議員

**問** 問野台小学校隣接地の変電所建設について、業界は電磁波の人体への影響はないと言いが、研究者からは問題の多発などの事例が報告されている。WHOは安全基準の見直しを進めており、国も疫学調査を始めた。結果は数年後に出る。周辺自治会からは、変電所には反対ではないが、あえて学校隣接地に建設しないでとの要望が出ている。法的に問題がないとして、市の対応は。

**答** 市として場所の変更や

## 学校隣接地への変電所建設計画について



問野台小近くの変電所建設予定地(生谷)

## さくら会

望月清義議員

**問** 新年度予算の特徴及び重点事業の概要について、市税の伸び悩みや地方交付税の一部が市債に切りかわることなどにより、ますます厳しさを増していると感じる。このような状況の中で、何に留意して新年度予算編成を行ったのか。また新年度予算の特徴、主要事業は何か。

**答** 当面する課題である情報化の急速な進展、少子高齢化の進行、循環型社会の構築等の観点から予算編成を進めた。今年度は、施設改修、またバリアフリーの社会環境の整備が特徴。主な事業として、小学校へのコンピュータ整備やIT講習会事業、高齢者対応の介護施設等への補助、臼井小学校の改修、下志津小・上志津中のプール改修、容器包装リサイクル法に対応する事業、地域活性化

の施策として旧堀田邸・旧佐倉順天堂の整備などに重点をおいている。

## 国立佐倉病院統廃合問題

**問** これまで国立佐倉病院の存続を要望してきたが、国の閣議決定を覆すことは困難なことである。統廃合後の医療の確保についての考えは。

**答** 国立佐倉病院を市立病院として経営することは財政上困難であることから、佐倉病院の持つ病床数200床の確保を図ることが最善と考え、経営主体が変わっても、何等かの形で病院として残せるように国に要望している。



千葉東病院との統廃合の方針が示されている国立佐倉病院(江原台)

## 個人質問

新庁舎建設コストは何億か?

藤崎良次議員

**問** 佐倉市役所の新庁舎は、これまでの市庁舎建設委員会提言平成10年11月に、議会棟を含めて32,000㎡(職員1人当たり30㎡×990人・人口23万人として計画されている。予算は記されていないが、建設費150億円(m単価は47万円)、土地代は36,000㎡として約70億円(60万円/坪)となり、総計220億円程度と推定されている。また、220億円を仮に20万人の人口と考えると1人11万円の負担になり高価すぎる。新庁舎価格をどのように想定しているのか聞きます。

**答** 建設場所については、まだ最終的な決定はしていない。今後、庁舎建設基本調査会を中心に選定を行っていく。建物の価格は、ここ数年に建設された他市の状況を見ると、m単価45万円から50万円となっており、これを参考にしたい。

市内循環バスについて

さくら会 檀谷正彦議員

**問** 市内循環バスについては、既に自治体の補助により運行を開始している近隣市町村においては、公益的見地から将来もこの事業を継続させていくとの強い意欲が示されている。高齢化社会を迎えた佐倉市における交通弱者対策は十分であると認識しているのか。交通弱者の分布状況を把握しているのか。道路運送法改正と巡回バス導入との関連性は。市長が国会へ公共交通整備のための補助金申請を行ったが、国・県の具体的な動きはあるのか。

**答** 市内循環バスは、高齢者等の交通弱者の交通手段を確保する上で大切である。また、地域の再生あるいはまちづくりの推進という観点からも必要性があり、社会的な要請が高まっていると受け止めている。佐倉市においてもバス運行の研究は既に十分行っており、あとは実施時期を判断するという段階である。極力早い時期に実現できるようにしていきたい。

## 障害者の進路について

新社会党 勝田治子議員

**問** 統合教育の推進について、市はどのように考えているのか。また、地域社会における障害者との共生について広めていくノーマライゼーションの啓発推進が求められているが、市としての対応は。

**答** 学校教育では、一律に同じ場で教育する「統合教育」ではなく、現在の教育制度のもとで、個々の児童生徒の状況に即し、適切な内容を適切な方法で教育する中で、積極的に交流活動を進めて行くことが大切だと考えている。佐倉市においては、平成9年度に「自立支援佐倉プラン」という障害者をお持ちの方に対する施策を策定している。基本的な理念として、ノーマライゼーションの考え方を踏まえており、障害を持つ人も持たない人も一人ひとりが自立した生活者として生活の質を高めていくように、そして共に暮らしていくような街を目指した施策を推進していくこと。そのような計画になっている。このような観点から、平成13年度に障害者計画を見直す中で、さらに施策を推進してまいりたい。

## 駐輪場の防犯対策について

公明クラブ 森野 正議員

**問** 駐輪場利用者の生命、身体、財産の安全を確保するため、現在はそのような対策をとっているのか。加えて今後どのような対策を考えているのか。また、新年度予算に駐輪場の防犯対策に関わる



創生

中原英雄 議員

監査請求を自らの会社の営業に悪用する業者の是非
問 道路台帳の作成業務が監査委員の勧告もあつて、随意契約から入札に切りかえられた。この勧告に先立つ住民監査請求は民間の任意団体が行つたが、この代表とともに、落札した会社の代表が名を連ねている。そもそも住民監査請求は、違法若しくは不当な公金支出等に対し行われ、それによつて特定の個人が利益を受けるものではない。監査請求をした当事者が代表を務める会社が落札をするという今回の監査請求に対する市長の所見を伺う。

定を行った上で競争入札に参加し、この結果として、この業者が落札したもので問題はないと受けとめている。
市長の財政運営
問 西志津の用地購入については、利息年2・8%の高利で10年間の分割払いを予定している。佐倉市には2月26日、現在約140億円の基金が積み立てられているが、これらを取り崩し、10年で積み戻す作業を行えば約2億5000万円の差益が生じる。市長は財政運営についてどのように考えているか。

6月5日(火) 午後6時から7時
一般質問の放送予定
6月12日(火)、13日(水)
14日(木)、15日(金)
午後6時から10時
最終日の放送予定
6月21日(木)
午後6時から7時



議会だよりをホームページで
佐倉市のホームページからどうぞ http://www.city.sakura.chiba.jp
オリジナルページ 議会事務局 さくら市議会だよりを
クリックして下さい。

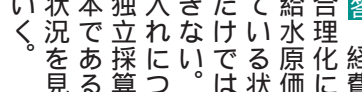
Table with 2 columns: 議員名, 質問事項. Lists questions from various council members regarding topics like road contracts, land acquisition, and public facilities.

新社会党

冨塚忠雄 議員

葬祭施設整備について
問 現在市民から、葬祭施設に関して式場が少なくて困っているという声を聞く。葬祭施設整備についてどのように考えているか。
答 平成8年から運営されているさくら斎場は、火葬炉については、将来的な需要増加を予測し整備をしたので十分対応ができています。式場については、お通夜、告別式等の葬儀が以前から民間の業者等により行われてきた経緯を踏まえ、式場が2つになつてきている。式場の利用率が高まつてきていること

水道料金について
問 水道料金を平均14・6%引き上げる条例が提案されたが、引き上げの最大の要因は、また、一般会計からの繰入金増額等を図り、引き上げ率を抑える考えはあるか。
答 経費の節減などで経営の合理化に努めているが、現在給水原価が供給単価を上回っている状態で、水道料金収入だけでは費用を賄うことができない。一般会計からの繰り入れについては、水道事業は独立採算で運営することが基本であるが、一般会計の財政状況を見極めながら判断していく。



式場の増設の要望が多い、さくら斎場(大蛇町)

市政会

白井尚夫 議員

地価下落に伴う諸問題について
問 地価の下落が続いているが、佐倉市の地価の動向、税収の状況は。課税の適正化についての考えは。
答 市内では、JR、京成各駅を中心とする商業地区では前年比17・19%の下落。京成沿線各地区では12・15%、根郷地区・JR駅より遠距離においては15・17%の下落となっている。12年度の税収については、12年度の土地課税額は39億7300万円であったが、13年度33億8000万円、14年度32億6000万円、15年度30億7000万円と予想している。平成6年度以降課税標準額の算定が複雑になった上に、地価の下落に対する税額の上昇という現象が起こっており、わかりにくい部分があるので、固定資産税の仕組みをわかりやすくしていく必要がある。

街灯の補助制度と地域自治会について
問 市内街灯の83%は自治会が管理している。街灯のすべてを市が管理することは容易ではないが、今後の方針は。
答 現在地元自治会が管理している街灯を市が管理することは、行政コストが非常に大きくなり難しい。市が経費の一部を助成するという現在の制度が一番望ましいと考えられている。補助金の処理については、補助対象範囲の見直しも含め、間違いの起りにくい制度を検討していく。



市民の暮らしを守る街灯は市の補助を受け自治会により管理されている(上座区会)

6月定例会の予定

議会を傍聴してみませんか
初日 6月4日(月) 午後1時から 午前10時から
一般質問 6月11日(月)から14日(木) 午後1時から
最終日 6月20日(水) 午後1時から
議会の模様がお茶の間でもご覧になれます
CABLENET 296
5チャンネルでは、本会議の模様を放送しています。
6月定例会初日の放送予定
6月5日(火) 午後6時から7時
一般質問の放送予定
6月12日(火)、13日(水)
14日(木)、15日(金)
午後6時から10時
最終日の放送予定
6月21日(木)
午後6時から7時

寺崎土地区画整理事業地内の行政・文化機能用地について
公明クラブ 吉井大亮議員
問 佐倉市は、都市基盤整備公団と寺崎特定土地区画整理事業地内に行政・文化機能を満たす用地として、3haの核となる施設用地を予定することを確約している。この土地は、13年秋に仮換地が行われる予定で、結果的に佐倉市が取得し、あるいは一定の損失補償が行われる。そこで、この土地の使用目的が決定していない状況で取得し、効率的な使用を行えるのか。財政難が叫ばれる中、多額の財政負担が可能であるのかを伺う。

国保の減免要綱等について
戸村庄治議員
問 国保税の減免の事由については、佐倉市国民健康保険税減免取扱要綱の中で、四つの規定が定められている。その1つに、「その他市長が特に減免の必要があると認められた場合」とあるが、その判断基準あるいは減免割合等については、その都度決定するとされ、極めて抽象的、あいまいな決め方になっている。被保険者が利用しやすいよう、内容をもっと具体的にされることを強く要求する。これについて、市長はどう考えるか。
答 減免の考え方については、市長の行政処分として租税の納税義務の一部、または全部を消滅させるものである。議員質問の「特例規定」については、通常想定し得ない特例規定としてもうけたものであり、具体的に事例を列挙すべき性格の規定ではないと考えている。該当するような事例があった場合には、国民健康保険の制度の趣旨に照らして慎重に取り扱って事務処理を行っていききたい。

新庁舎の有力な建設予定地であり、慎重な見極めをする。財政負担は非常に厳しい状況がある。
問 公共用の目的が明確でない。11年9月に事業計画が定まっているが、用地取得自体を公団に断るべきだ。
答 用地確保については、市が示してきた基本姿勢を受けて臨むべきだと考えている。



### 3月定例会の議案と議決結果

新年度予算については1ページに掲載しています。

は全員賛成、は賛成多数、は賛成少数

市長提出議案	丸数字は議案番号、白抜き数字は諮問番号	本会議の議決結果
12	平成12年度佐倉市一般会計補正予算	原案可決
13	平成12年度佐倉市国民健康保険特別会計補正予算	原案可決
14	平成12年度佐倉市交通災害共済事業特別会計補正予算	原案可決
15	平成12年度佐倉市公共用地取得事業特別会計補正予算	原案可決
16	平成12年度佐倉市国鉄佐倉駅前土地区画整理事業特別会計補正予算	原案可決
17	平成12年度佐倉市下水道事業特別会計補正予算	原案可決
18	平成12年度佐倉市老人保健特別会計補正予算	原案可決
19	平成12年度佐倉市農業集落排水事業特別会計補正予算	原案可決
20	平成12年度佐倉市介護保険特別会計補正予算	原案可決
21	佐倉市議会政務調査費の交付に関する条例制定について	原案可決
22	佐倉市情報公開条例制定について	原案可決
23	職員の再任用に関する条例制定について	原案可決
24	職員の再任用に関する条例の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について	原案可決
25	議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
26	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
27	教育委員会教育長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
28	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
29	佐倉市自動車等管理基金の設置及び管理に関する条例を廃止する条例制定について	原案可決
30	佐倉市手数料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
31	佐倉市証紙条例を廃止する条例制定について	原案可決
32	佐倉市国民健康保険高額療養費貸付基金条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
33	佐倉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
34	佐倉市奨学資金補助条例制定について	原案可決
35	佐倉市立公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
36	佐倉市立美術館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
37	佐倉市立保育園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
38	佐倉市立学童保育所設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
39	佐倉市ねたきり身体障害者等福祉手当支給条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
40	佐倉市介護給付費準備基金条例制定について	原案可決
41	佐倉市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
42	佐倉市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
43	佐倉市道路線の認定について	原案可決
44	佐倉市道路線の変更について	原案可決
45	市民音楽ホール大規模改修機械設備工事請負契約について	原案可決
46	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	原案可決
47	印旛郡市広域市町村圏事務組合規約の変更に関する協議について	原案可決
48	印旛利根川水防事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	原案可決
49	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
50	情報公開審査委員の委嘱について	同意
51	情報公開審査委員の委嘱について	同意
52	助役の選任について	同意
53	固定資産評価員の選任について	同意
1	人権擁護委員候補者の推薦について	同意
2	人権擁護委員候補者の推薦について	同意
3	人権擁護委員候補者の推薦について	同意
議員発議		丸数字は発議案番号
1	財政運営を適切に行うことを求める決議	原案可決
2	乳幼児医療費現物給付助成に関する意見書	原案可決
3	沖縄県議会の決議を尊重し、速やかな実行を求める意見書	原案可決
4	ハワイ沖における米国海軍原子力潜水艦衝突事故に関する意見書	原案可決
5	自主的な市町村合併に関する意見書	原案可決
6	ドメスティックバイオレンス防止の法制化を求める意見書	原案可決
請願・陳情		白抜き数字は陳情番号
17	「印旛沼環境保全・治水対策早期実施意見書」提出に関する陳情	継続審査
閉会中の継続審査となっていた請願・陳情		
15	NTT「お客様営業窓口」の存続を求める陳情	不採択
16	JR労使紛争の早期解決に関する陳情	不採択

## 主な議案の概要

主な議案の概要をお知らせします。

丸数字は議案番号、白抜き数字は諮問番号です。議案名は、右の一覧表をご覧ください。

12 12年度末の計数整理を中心とした補正。一般会計については、5062万7000円の減額補正で、平成12年度予算の総額は403億679万9000円となる。

21 地方自治法の改正に伴い、議会の会派及び議員に対する政務調査費を条例化するもの。佐倉市議会では、議員の調査研究のために必要な経費の一部として、一人当たり年額70万円が支給さ

れる。

22 情報公開運営審議会の答申を踏まえ、これまで佐倉市在住・在勤等に限定されていた開示請求権を誰でも請求できるようにしたほか、写しの交付料金を20円から10円に改定、電磁的記録についても公開できるようにする。10月1日から施行。

23 地方公務員法の改正により、定年退職者等を65歳まで再任用できることなどを条例化するもの。

25 議員、特別職、教育長の報酬、給与等を改定するもので、平成6年の改定以来据え置かれていたものをそれぞれ月額2万円引き上げるもの。

33 国民健康保険税の課税限度額を52万円から53万円に改定。13年度分の国保税から適用。

34 経済的理由により高校への通学が困難な生徒に学資の援助をするもの。これまで市内在住1年以上であった奨学金の資格要件を市内在住であれば可とした。奨学金の額は、全日制においては県立高校の全日授業料、定時制においては同定時授業料。

36 佐倉市立美術館の駐車料を4月1日から無料としたもの。

37 保育園の定員を変更するもので、13年度から根郷保育園の定員を130人に、北志津保育園の定員を100人に増員。

42 水道料金を10月1日から値上げするもの。一般の標準家庭口径13ミリで月額約260円、20ミリで約42

0円程度(約12%)の値上げとなる。

45 市民音楽ホール大規模改修機械設備工事を1億9740万円で大気・小池特定建設工事共同企業体と契約。固定資産評価審査委員会委員に引き続き藤川浩志氏を選任。

50 情報公開審査委員に引き続き岩橋健定氏を委嘱。

52 助役に大日方尚巳氏の後任として、鎌田富雄氏を選任。

53 固定資産評価員に新しく鎌田富雄氏を選任。人権擁護委員に引き続き渡邊美知子氏、楳員長雄氏、楠野卓氏を推薦。

## 議員発議

今定例会に議員が提出した決議の概要は次のとおりです。すべて可決され、意見書は関係省庁に送付しました。丸数字は発議案番号

財政運営を適切に行うことを求める決議  
健全な財政運営に努め、用地買収等においては市民に一番負担の少ない方法を選択することを佐倉市に求めるもの。

乳幼児医療費現物給付助成に関する意見書  
乳幼児医療費の現物支給は21都府県で実施されており、千葉県においても現物給付とするよう求めるもの。  
沖縄県議会の決議を尊重し、速やかな実行を求める意見書

見書

在沖米軍の兵力の削減、事件の再発の防止など沖縄県議会の決議を尊重し、速やかな実行を求めるもの。  
ハワイ沖における米国海軍原子力潜水艦衝突事故に関する意見書  
米国政府に対し搜索活動の強化、船体の引き揚げ、衝突原因の究明、再発防止等を求めるよう要望するもの。

自主的な市町村合併に関する意見書  
市町村合併は、住民の自主的な選択に委ねることを要請するもの。  
ドメスティックバイオレンス防止の法制化を求める意見書  
被害者保護施設の充実、民間シェルターへの助成などを位置づけることを求めるもの。

## 議会百景

「散る桜、残る桜も散る桜」日本人は、桜に美意識を重ねがちですが、良寛の辞世のこの句も、その典型といえましょう。今年はお客さんの案内で、厚生園と城址公園の花見に出かけました。桜の美しさを、咲き方や散り際に求める人が多く中で、私は大地に落ちた花びらを愛でたい。春雷の後、花びらと風雨が、議長室の窓ガラスに一幅の絵を描きます。夜の暗さを背景に、是非一度鑑賞して頂きたい。21世紀の街づくりは、このように佐倉にある人、物、歴史・文化等を再発見し、一工夫して顕在化させることから始まるのではないのでしょうか。(M.S)